

国連環境計画

国際生物多様性の日記念シンポジウム

「森林の生物多様性の保全」

2009年 5月22日

早稲田大学小野記念講堂

第一部 外来生物

10:00~12:00

「森林の侵入種・マツクイムシ」

牧野俊一（森林総合研究所）

「奄美大島やヤンバルの希少種はどのような脅威を受けているか」

杉村乾（森林総合研究所）

「小笠原諸島の生物多様性への脅威」

大河内勇（森林総合研究所）

第二部 生物多様性と林業

13:15~17:20

「持続的森林管理と生物多様性」

中静透（東北大学）

「林業によって種の多様性はどう変わるのか」

長池卓男（山梨県森林総合研究所）

「林業によって生態系機能はどう変わるのか」

岡部貴美子（森林総合研究所）

「人も自然もいきいきとした森をめざして — 一丹沢再生の取組 —」

山根正伸（神奈川県自然環境保全センター）

主催：独立行政法人 森林総合研究所、早稲田大学環境総合研究センター



お申し込み・詳細は、森林総研ホームページ (<http://www.ffpri.affrc.go.jp/index-j.html>) でご確認ください。